



ワク

こども
はくぶつかん
だより

vol.03

今回は、常設展で展示中の豊田市域の動物と、7月15日から開催の戦後80周年企画「せんそうのきおく」を紹介します。8月15日には終戦から80年を迎えます。



とよたの動物



この動物たちの名前は何かな？
豊田市にもすんでいる動物だよ。
顔、しっぽ、名前を線でむすぼう！



あ



い



う



1



2



3

アライグマ

タヌキ

ハクビシン

どんぐりの森



2024年2～3月に市内の小学6年生が植えてくれたどんぐりの苗木。暑い春、長い夏、短かった秋、厳しい冬を乗り越えて、背丈も葉の数も2倍以上に大きくなりました。タネから育てたどんぐりの木は、この秋に芽を出してから4年になります。森になるまでみんなと背くらべです。



このどんぐりの木の種類は何かな？

① コナラ ② カシワ ③ マテバシイ

答えは博物館の「むかしの家」の西側にあるどんぐりの森へ行って探してみよう。

い ぼ ばら 浄水町にあった伊保原飛行場について知ろう。

太平洋戦争(1941～45年)のころ浄水町には伊保原飛行場がありました。1945年、名古屋海軍航空隊では神風特別攻撃隊「草薙隊」が編成され、4月には同飛行場から鹿児島県(国分基地)へ進出し、沖縄付近にいたアメリカの艦船に突入しました。この特攻で帰らなかった飛行機は28機、戦死者は56名という記録が残っています。伊保原飛行場跡には、草薙隊の慰霊碑が建っています。



神風特別攻撃隊 草薙隊之碑
浄水町にある開豊神社の東隣にあります。

じゅうだん この銃弾は太平洋戦争後、当時小学生だった池田町の方が拾って保管していたものです。

「1944年12月～1945年3月、本土での戦いに備えて鞍ヶ池の東は弾薬庫になっていた。終戦と同時にここは爆破されたが、銃弾の金属片がいっぱい転がっていた。朝鮮戦争(1950～53年)のころ、これを集めて持っていくと業者が買い取ってくれた。その中に火薬が残ったままの銃弾が混ざっていたため、金属くず拾いはやめるようになった。」



銃弾

(銃弾を拾った方<昭和16年生まれ>のお話より／2021年に聞き取り)



戦争の記憶を持っている方、戦争の記憶を伝え聞いている方が身近にいたら、お話をきいてみよう。



昭和10年代の 小学生が描いた絵



これらは拳母第一尋常小学校(今の拳母小学校)の児童が描いた絵です。何が描かれているかな? どのような時代だったのか考えてみよう。



表面の答え



あー3ーアライグマ (アライグマ科) 前足の5本の指で上手に物をつかむよ。(→写真)

いー1ーハクビシン (ジャコウネコ科) 額から鼻にかけての白い線が特徴だよ。

うー2ータヌキ (イヌ科) 集団行動を好む。ため糞をして自分の領域を知らせるよ。



常設展で豊田市域にいる動物(剥製)を展示中。さがしてみよう!

「ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト」 開催中! 9月7日(日)まで(中学生以下無料)



※ 詳しくは豊田市博物館ホームページを見てね。▶



《人頭の鳥で表されるバーの護符》ブルックリン博物館蔵▶

